

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

18571

基礎学力向上事業

[長期総合計画]

分野別目標	3	子供たちがいきいきと育つまち
政策	2	社会を生き抜く子供たちの学力の育成
施策	1	確かな学力を育む教育の推進
取組方針	1	教育課程の充実と学力の向上

事業区分(1)	事業経費		管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務		法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	教育費		
	項	教育総務費		
	目	教育振興費		
	大事業	教育振興事業		
	中事業	基礎学力向上事業		

事業種別	継続		関連個別計画			
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	学校教育課	西谷 宣昭 435-1196
事業実施の根拠法令			関連課			

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	放課後の補充学習を行い、学力向上に向けた取組みを推進する。		放課後の補充学習を行い、学力向上に向けた取組みを推進する。			
事業内容	令和02年度		令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度
			放課後学習タイムの充実のために、学校の要請に応じて、教員OB等を配置し、児童の放課後の補充学習をフォローアップし、児童の学力向上を図る。	放課後学習タイムの充実のために、学校の要請に応じて、教員OB等を配置し、児童の放課後の補充学習をフォローアップし、児童の学力向上を図る。	放課後学習タイムの充実のために、学校の要請に応じて、教員OB等を配置し、児童の放課後の補充学習をフォローアップし、児童の学力向上を図る。	放課後学習タイムの充実のために、学校の要請に応じて、教員OB等を配置し、児童の放課後の補充学習をフォローアップし、児童の学力向上を図る。

2 事業コスト

事業費等(千円)	令和02年度		令和03年度		令和04年度		令和05年度		令和06年度		
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	
事業費	0	0	4,312	4,299	4,312	4,189	4,312	0	4,312	0	
伸び率(%)	0%	0%	0%	0%	0%	△2.6%	0%	△100%	0%	0%	
人件費	正規職員	0	0	8,456	8,456	8,227	8,302	8,302	0	8,302	0
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	8,456	8,456	8,227	8,302	8,302	0	8,302	0
国庫支出金	0	0	1,437	1,434	1,437	1,396	1,437	0	1,437	0	
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
一般財源(税等)	0	0	2,875	2,865	2,875	2,793	2,875	0	2,875	0	
所要人数(人)	正規職員	0.00	0.00	1.09	1.09	1.10	1.11	1.11	0.00	1.11	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	報償金 4312千円										

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度
			目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
活動指標	放課後学習等フォローアップ事業実施校	校	目標値		25	25	25
			実績値		21	18	
			達成度(%)	%	84%	72%	%
成果指標	放課後学習等フォローアップ事業学習支援員活動時間	時間	目標値		1750	1959	1933
			実績値		1954	1904	
			達成度(%)	%	111.7%	97.2%	%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか		達成している (90%以上)	○	おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				○
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	補充学習等は、子供の基礎学力向上のため、実施が必要である。
見直し・改善内容	内容の精選については、引き続き必要である。